

連載 4コマまんが
 笑いにちなんだマンガを
 マンガ家を目指す方々に
 奮をふるってもらうコーナーです。

ザ・ジャッジ
 作:小谷証史



推進事業のご案内

(仮称)大阪お笑い商店街 ~若手芸人 悠達の26回連続ライブ~

NPO法人関西演芸推進協議会では、関西の演芸を盛り上げ、若手芸人の活躍を支援し、演芸の伝統を守り次世代へと継承していくことを目的とした事業の推進活動の一環として、大阪市商店会連盟の「商店街の日」事業に協力。大阪市の商店街の繁栄と共に、関西の演芸の盛栄と、当協議会の推進のために下記内容で取り組み、協力をいたします。

■事業内容

各区の代表商店街で巡業お笑いライブ開催 (計25回)

①期間及び回数:
 商店街の日(10月2日曜日)までの
 一定期間に各区1商店街を巡回ライブ(計25回)
 ※この間、毎週、市内商店街のどこか2箇所までライブが開催されているイメージ

②出演者:若手芸人(漫才、落語など)

③場所:各区高連で1つの商店街を選定。(基本的には空き店舗活用)

④参加料:無料(あるいは、「夢くいし」持参の方で先着順など)

⑤主催:大阪市商店会総連盟と各区商店会連盟の共催
 協力:NPO法人関西演芸推進協議会

■ファイナル公演

①日程:平成20年度商店街の日
 (平成20年10月12日(日))

②出演者:横山ホットブラザーズ、他

③場所:精華小劇場

④主催:大阪市商店会総連盟
 協力:NPO法人関西演芸推進協議会

上方演芸よもやまばなし

大阪府立文化情報センターに勤めて10年。門前の小僧ではないですが、関西の伝統芸能や演芸に携わる方々と出会い、学ばせていただく機会が少なくありません。その素晴らしい芸を間近で見ただけでなく、時には楽器に触らせてもらったり、芸のところに通じるお話を聞かせていただいたりと、一般のOLよりは、感動に巡り合う機会に恵まれたのではと思っています。

時には、スタッフであることを忘れ、本番に舞台に見入ってしまうこともあり、そのたびに、それぞれの芸の持つ魅力に、改めて気付かされる思いがします。

能や狂言、落語、講談、マジックなど、ジャンルはさまざまですが、皆さんそれぞれ、自分たちの芸に誇りを持ち、ひとりでも多くの人に感動してもらいたいとの心意気をお持ちです。

ひとくちに演芸と言っても、その世界は奥深く、まだまだ知らないことだらけですが、仕事や個人的体験、経験を通して感じたことを、楽しくご紹介できたら...そう思っています。

大阪府立文化情報センター 松井 あゆ子

街角の笑いネタを探せ!

街角で一般の方に聞いてみました。今回は、「マイネタ(自分のよく使う駄洒落)」を教えてくださいました。関西人は人を笑わせるのが好きな人種(?)よく使う駄洒落などの調査です!

サンプル数21人
 実施日:2008年6月18日

Q1:マイネタ(よく使う駄洒落)はありますか?
 15% ない
 85% ある

Q2:そのマイネタのフレーズは?
 ●そうね、そうね、カプリネーネ(30代・女性)
 ●ヤッパ〜イネッ! (40代・女性)
 ●まいっちんぐ〜! (40代・男性)
 ●トイレに行つて! (12代・男性)
 ●冗談よこ! まいたつゴロー! (40代・女性)
 ●どんだけ〜! (12代・男性)
 ●こまったこまったコママ! 姉妹(55代・男性)
 ●あつたり前目のクラッカー〜! (45代・男性)

懐かしいフレーズがあったり、年代を感じさせる駄洒落があったり...しかし、さすが関西人、駄洒落好きなお客が多いことに感じます。

関西人、二人以上集まれば、ボケツッコミのオンパレード!!

イベント報告&案内

■平成20年度 第一回記念講演
 (講師:木津川 計先生 専門誌「上方芸能」発行人
 和歌山大学客員教授 川西市生涯学習短期大学学長)
 平成20年7月16日(水) 19:00~ 於:ホテルメトロ21

■関西演芸推進協議会「第5回笑らいふ」
 平成20年8月24日(日) 於:そごう劇場(そごう心斎橋本店14階)

編集後記

夏が来る〜夏が来る〜トシーズンのテーマソングを耳にしなが、気持ちもホット!?に過ごす日々。最近音楽を聴きながら料理をするのがマイブームとなっています。先日、お店で食材を指定していたら、昨日は安かったレタスが今日は入らぬ! 嬉しい! お店のおじちゃんに「昨日のレタス、どこ行ったン?」すると、「昨日は特売日や! また明日安くなるし...」と。「おっちゃん、今日も安くなって〜。」が、しかし、スーパーでは既にその日の値段がPOSに登録してあるので、値段変更はできない。市場だったら、その辺の値交渉もなんとかなったのに...と思いきや、おっちゃんは、他の野菜を薦める。「ねえちゃん、今日はゴーヤにしとき!」でなければ、その日のメニューはゴーヤチャンプル〜トこんな日常の何でもない会話か、時には笑いも生まれる。驚いていない「日常の笑い」にいつも感銘されています。次号もお楽しみに...

NPO法人関西演芸推進協議会

~会員になって一緒に盛り上がりませんか?~

関西演芸推進協議会では、関西の演芸を盛り上げ、若手芸人の活躍を支援し、演芸の伝統を守り次世代へと継承していくために様々な活動を行っています。あなたの入会で、まず一歩、参加して! もう一歩、とおのりおのりの思いと存在がこの協議会、そして演芸会を活性化します。皆様のご入会もとり、ご友人、お知り合いの方にもお声をかけていただけましたら幸いです。

関西から文化力
 POWER OF CULTURE
 関西演芸推進協議会は文化庁の関西文化振興事業に参加しています。

NPO法人関西演芸推進協議会の公式ウェブサイトもご覧ください!
<http://www.walive.org>

イベントのスケジュールや各種ご案内をアップしてまいりますので、ブックマークに登録してくださいね!

会報誌「笑らいふ」への広告掲載も募集中です! お問い合わせは下記まで...

NPO法人関西演芸推進協議会<事務局>
 大阪市浪速区難波中1-10-4 千房株式会社内
 TEL.06-6633-1430 FAX.06-6633-1435 mail: info@walive.org

関西演芸推進協議会 会報誌
 w a l i v e
笑らいふ
 「笑ライブ」とは「笑」、「曲」、「SHOW(見せる)」=LIVEという意味と、「WA」の意味する平和の「和」、みんなで手を繋ぐ「輪」の思いから名前にしました。
第4号 2008年7月
 発行/NPO法人関西演芸推進協議会 編集部
 <事務局>大阪市浪速区難波中1-10-4 千房株式会社内
 TEL.06-6633-1430 FAX.06-6633-1435
<http://www.walive.org> info@walive.org

INFOMATION

暑い季節と言えば、「祭り」がつきもの。大阪なら天神祭、京都なら祇園祭が代表的な祭ですが、夏祭りは秋の収穫を祈るもので、秋の祭りは収穫を神に感謝するのが主となっています。NPO法人関西演芸推進協議会も二年目となり、一年目は収穫を祈る準備期間と考えれば二年目は一年目の収穫に感謝しながら、次の実りの為の地盤づくりにも精を出さねばなりません。しかしながら、今日まで、実に多くの皆様にNPO法人関西演芸推進協議会というフィールドに足をお運びいただくことができ、はじめは軟らかかった地盤も毎日肥やされて参りました。更なる飛躍の為に、今後とも当協議会開催の活動にお運びいただければと思います。

CONTENTS

☆1年の事業報告「おかげさまで1年!」.....1頁
 ☆イベントレポート(第1回連盟総会).....2頁
 ☆NPO法人関西演芸推進協議会員の紹介(ご寄稿文).....3頁
 ☆イベントレポート(のどご寄稿).....4頁
 ☆協議会入会のご案内 他.....4頁

NPO法人関西演芸推進協議会 おかげさまで1年! 活動の足跡を御報告させていただきます!

NPO法人関西演芸推進協議会の発足から今日まで、約一年半が経ちました。振り返ってみると、そごう劇場で開催された「笑らいふ」は既に四回の公演を実現させ、その他にもイベントへの参加など、短期間に様々な催しがありました。二年目となる当協議会も活動の場を更に拡充しながら、「関西の演芸文化を育て、継承する」という事業テーマに添った運営を実現していきたいと存じます。今後とも皆様のご理解、ご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

これまでの活動行事一覧

開催日	活動内容	開催会場	参加人数
2006.12.25	発起人会	スイスホテル	27名
2007. 1.30	第一回幹事会	ホテルメトロ	35名
2007. 2.20	第二回幹事会	ホテルメトロ	40名
2007. 3.12	第三回推進会議	ホテルメトロ	58名
2007. 4. 7~8	とんぼり桜まつりブース参加	道頓堀リバーウォーク	
2007. 4. 9	第四回推進会議	ホテルメトロ	35名
2007. 5. 月	会報誌「笑ライブ」第一号発行		
2007. 5. 3~6	浪速の春「大阪城にぎわいフェスティバル2007天守閣ライブ」参加		
2007. 5. 9	第五回推進会議	ホテルメトロ	41名
2007. 5.13	第一回「笑らいふ」	そごう劇場	225名
2007. 5.13	御堂筋オープンフェスタ 参加		
2007. 7. 2	第六回推進会議	ホテルメトロ	23名
2007. 9.13	第七回推進会議	ホテルメトロ	20名
2007.10. 1	NPO法人関西演芸推進協議会成立 NPO法人認証記念発足式	スイスホテル	25名
2007.10.16	第八回推進会議	ホテルメトロ	24名
2007.10.28	第二回「笑らいふ」	そごう劇場	182名
2007.11 月	会報誌「笑ライブ」第二号発行		
2007.12.11	第一回交流視聴会「笑門来福!大忘年会」	ホテルメトロ	110名
2008. 1. 7	第九回推進会議	ホテルメトロ	28名
2008. 2. 4	第十回推進会議	ホテルメトロ	33名
2008. 2.24	「笑らいふ特別公演」 共催:大阪府教育委員会「こころの再生」府民運動	そごう劇場	270名
2008. 2.24	第四回「笑らいふ」	そごう劇場	273名
2008. 3 月	会報誌「笑ライブ」第三号発行		
2008. 3. 8	西淀川区野里本町商店会 野里寄席		50名
2008. 3.22	西淀川区野里本町商店会 野里寄席		50名
2008. 5.14	NPO法人関西演芸推進協議会 通常総会	ホテルメトロ	164名



2008年
5/14
in ホテルメトロポリ

ジャンルを超えて…共演の実現

「関西演芸の伝統継承のため」多方面でご活躍の皆様が結集

2008年5月14日、第1回通常総会が開催されました。当協議会代表、小野幸親氏の挨拶にはじまり、1年の事業報告、収支報告の後、今後の事業予定など、2年目となる事業運営も1年の経験を基にして更なる躍進が期待できそうです。総会の後、行われた懇親会では、協議会にお力添えを

くださっている皆様のスピーチなどで温かい雰囲気でも包まれていました。



▲藤田富美恵氏(相談役)



▲会長 小野幸親氏のご挨拶で総会が開会



▲副会長の福徳治郎氏と
中井育穂理事



▲正司敏江氏と
石井事務局長の掛け合いも一役



▲総会は164名のご出席もいただき、満場一致で議案成立



▲会が終わっても、話がつきません

「駆け出し講談作家の願い」

シリーズコラム

会社員とともに、小生は「駆け出し講談作家」と言う肩書を持っているのであります。まあ、まだまだ自慢できるほどの作品は出来上がってはいませんが…。しかし何故、その道を目指しているかと言うと、このままだと必ずと言っていいほど、講談、特に関西の講談と言うのは絶滅してしまうに違いないからです。例えば、地球の温暖化により遠くから姿を消してしまうであろうと言われるホッキョクグマは、さて何頭いるかご存じでしょうか？2万頭です。では関西の講談師の数をご存じでしょうか？僅か15人にも満たないのであります。ホッキョクグマと比べられても講談師の方々は困ってしまうでしょうが、講談の現状はまさに北極より寒い状態、絶滅不可避な古典芸能と言えぬのです。

しかし、どれだけの方がこの講談を聞いたことがあるのでしょうか？誰もちゃんと聞かないうちに、絶滅してもよいのでしょうか？それが、講談と言う文化を微力ながらも守りたいと思ったキッカケなのであります。古典芸能は眠気に耐えて、難しい顔で鑑賞しなければならないと思っておられるアナタ、それは間違い！笑いや涙に溢れ、「老化は感情から」と言われる昨今、皆さんの心の若さを保つのに大いに役立つはず。戦国時代にまでその起源を遡ることが出来るこの講談。その魅力については、次回たっぷりお伝えするとして、今日のところはこれにてお終い、またのお越しをお待ちするのでございます。

毎日放送宣伝部長 大谷邦郎

其の2 よみがえれ！ 演芸の町・道頓堀

江戸時代から道頓堀は日本屈指の劇場街だったといえます。

ご存知の方も多いと思いますが、道頓堀が完成したのは1615年のこと。1612年、安井(成安)道頓が私財を投げうって運河の開削に乗り出したのですが、翌年の大坂夏の陣で討死。その後を安井道ト(どうぼく)らが引き継ぎ完成させます。道頓の功績を讃えて「道頓堀」の名がつけられ、沿岸の開発の命を受けた道トは、1626年、道頓堀に芝居興行や遊所をもってくることを願い出て許可されます。それ以降、道頓堀は一大芝居の町、演芸の町として発展していくことになるのです。

多くの劇場が誕生。中でも浪花座(竹本座)、中座、角座、朝日座、弁天座が有名で、浪花五座とか、道頓堀五座とか呼ばれていました。ところで、世界が注目する舞台演出装置の発明「回り舞台」を初めて披露されたのも道頓堀だそうです。1758年、角座の舞台で、評判が評判を呼び、広がっていきます。

江戸時代から明治になっても劇場街、道頓堀は栄え、大正から昭和にかけて、祖父や父の時代も活況を呈していました。

演劇の町ができれば、多くの役者さん、芸人さんたちが集まってきます。また、人形浄瑠璃、歌舞伎狂言、お笑いなどの作家も育ってきます。こういう環境がそばにあったからこそ、一般の大阪人ですらポケ、ツッコミをたしなむようになったのではないのでしょうか。

ところで、平安時代からの芸能「万歳」に由来する「漫才」という言葉は昔からあったのかと思えば、某資料によれば、昭和のはじめに大阪で使われたし、広がっていったとありました。そして、それを行う人を漫才師と呼ぶようになったといえます。今なら、流行語大賞ものではないのでしょうか。

ところで時代は移り変わり、道頓堀も少し様変わりしました。しかし、多くの方がかつてのような演芸の町、道頓堀の復活を望んでいるように思います。私もその一人です。



編集分室 八木純子
(編集分室発行ネットマガジン「エルバイエル」)http://www.lxi-net.com

イベントレポート 「のぞと寄席」

2008年
3/8(土)・22(土)
in
野里本町商店会
(西淀川)

野里本町商店会での出前寄席で 商店街の活性化&芸人の舞台提供を…

2008年3月8日、22日の2回にわたり商店街の活性化と芸人の舞台提供で一役買おうと、野里本町商店街(大阪市西淀川区)で出前寄席を出張致しました！当日は寒気の残る中、それでも空き店舗前の路上に舞台を設置した20席程の座席に近所の方々が集まり、立ち見の観客も出る程でした。格式のある劇場型の笑いふ、それとは対照的な青空型の出前寄席。最前列に座られた観客と出演者との掛け合いは生らいつにふさわしく緊張感を含んだまた和やかなムードで繰り広げられたのでした。



イベントレポート 「さわやかフェスタ2008」

2008年
5/24(土)・25(日)
in
梅田スカイビル
ワンダースクエア

雨も「笑い」でふっとぶ！ 優しい空気を共有するイベント参画。

5月24日25日には梅田スカイビルワンダースクエア広場にてNPO法人トゥギャザーの要請で「さわやかフェスタ2008」に障害のある方もない方も誰もが楽しめる福祉フェスタに参画し、あいにくの雨もふきとばすくらい笑いや歌声に包まれ優しい風が吹き抜けたようでした。



会員の皆様も是非上方文化を架け橋として活動する協議会行事にご参加くださいませ！